

# 高島平GREEN TALK

#1

## 第1回 レポート

2025年11月

発行者：高島平 Green Place Design チーム

### 1. 概要

高島平GREEN TALKは、高島平再整備基本計画策定に向けて開催される高島平緑地の未来を、行政・地域・民間プレイヤーが共に考えていくための対話シリーズの場です。

第1回では、板橋区公園整備担当課の志村課長をお招きし、再整備方針に込められた思いや背景、今後の活用に向けた行政の考え方、住民さんからのアイデアを共有しながら、これからの中島平緑地の姿について話し合いました。

本企画は、今後1年間続く「高島平緑地社会実験」の一環として実施する予定です。



### 2. 当日のトーク概要

板橋区の志村さんからは、まず緑地の成り立ちと現在の課題について説明があり、

- ・高島平緑地は、もともと交通騒音を防ぐ「緩衝緑地」として整備されたこと
- ・時間の経過とともに老朽化や「暗くて怖い」といった声が増え、生活ニーズと合わなくなっていたこと
- ・これらの課題を踏まえ、昨年「高島平緑地再整備方針」を策定したと
- ・再整備の柱として「共存」「貢献」「活用」の3つの考え方があることなどが紹介されました。

さらに、参加した住民のみなさんからは、遊具、アクティビティ、イベント、健康づくりなど多様なアイデアが寄せられ、地域と行政の間で活発な対話が生まれました。



### 3. 参加者（＝住民）からの主な提案（カテゴリ別）

アクティビティ	・焚き火 ・バーベキュー ・巨大囲碁（多世代交流）
遊具・施設	・ブランコ、砂場、鉄棒 ・細長い地形を活かした“長い滑り台” ・木々の間に設置する大型ブランコ ・絵本の世界（トム・ソーヤ等）を活かしたツリーハウス
イベント・文化	・姉妹都市物産展（ボローニャ等） ・音楽イベント（立地特性を活かす）
健康	・100m毎の距離表示を設けたウォーキング導線 ・高齢者も日常的に利用できる散歩道



### 4. 参加者の声に対して

住民の提案に対して、志村さんから以下のような前向きな姿勢が示されました。

- 既存の緑を活かしつつ、使いやすさを高める再整備をめざす
- 行政は“黒子”として、住民主体の活用を支える役割にまわりたい
- 社会実験で出たアイデアをまず試し、反応を見ながら整備方針に反映していく
- 「居場所づくり」は高島平プロムナード基本構想から続く区の長期の方針であり、緑地再整備はその具現化の一環である

行政と住民の距離が近づき、率直な対話が生まれた点が今回の大きな成果となりました。



### 5. 今後の進め方

- 社会実験は月1回ペースで  
2026年12月まで継続予定です。
- 各回で寄せられた住民アイデアを実際に試し、使われ方の検証を行います。
- 協働の中で得られた知見は、再整備計画へ段階的に反映していきます。
- 次回以降のGREEN TALKでは、地域団体や実践者をお招きし、多様なテーマで対話を深めていく予定です。

### 6. 総括

第1回のGREEN TALKは、行政の思いと住民の創造力が同じテーブルに集まり、緑地の未来を共に描き始めた象徴的な場になりました。高島平緑地は、これから“地域の庭”として多世代が集い、挑戦し、新しい使われ方が生まれる可能性を秘めています。高島平GREEN TALKは今後も、みんなの声を丁寧に拾い、行政とともに未来をつくる対話の場として継続していきます。